



2024年4月24日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F C E
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 川 淳 悦
(コード番号：9564 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 コーポレート本部長 加藤 寛和
(TEL 03-5908-1400)

【教育現場×生成 AI】生成 AI プロンプトプラットフォーム「FCE プロンプトゲート アカデミック」の導入校に早稲田摂陵高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校が決定！

株式会社FCE（代表取締役社長：石川淳悦、本社：東京都新宿区、東証：9564）は、教育機関向け生成 AI プロンプトプラットフォーム「FCE プロンプトゲート アカデミック」の導入校に、早稲田摂陵高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校の3校が決定しましたこととお知らせします。2024年4月より、アンバサダーにタレントの山崎怜奈さんを迎え本格展開をスタートさせましたが、多くの反響をいただき、早速の導入決定となりました。今後の展開については、まずは当社のお客様である全国の約1100校の学校に導入を早急に進めると同時に、全国の教育委員会および小中高合計35,000校を対象に「FCE プロンプトゲートアカデミック」の提案も開始してまいります。

・FCE プロンプトゲート導入の背景

プロンプトとは「生成 AI への指示・命令」を言い、プロンプトエンジニアとは生成 AI から正確かつ的確な回答を引き出すために「適切な指示をする専門家」を指します。FCE プロンプトゲートは、「プロンプトエンジニア資格講座」「プロンプト作成支援ツール」「プロンプト管理ツール」「最新生成 AI 情報」などプロンプトエンジニアを育成するための総合的なプラットフォームです。

このたび、早稲田摂陵高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校にて導入をいただいた FCE プロンプトゲート アカデミックは、学校教育に特化した内容になっています。生成 AI を使いこなすためのプロンプト作成スキルを学べるほか、教員向けには校務や教務に、生徒向けには探究や面接対策など教育現場ですぐに使用していただけるテンプレートも付属しています。

3校ではまずは教員を対象に導入をし、校務・教務の生産性向上、プロンプト作成のスキルアップを目的に活用を始めます。また将来的には、文科省によるガイドラインの提言状況も踏まえながら、生徒のリテラシー向上に向けて使用を検討していく予定です。

・FCE プロンプトゲート アカデミックの特徴

機能①：AI プロンプト 8 + 1 の公式を学べる

「AI プロンプト 8 + 1 の公式」をマスターし、生成 AI の基礎的な公式・使い方を学ぶことができます。これにより精度が高く、的確なアウトプットを導くことができるプロンプトを作成することができます。

機能②：探究授業や大学推薦にも使えるテンプレートを用意

「座席表や学級通信をつくる」「課題を作成する」といった教員の校務・教務から、「探究授業に使える探究パック」「自己推薦文の添削」「大学入試の模擬面接対策」といった生徒向けまで学校現場ですぐに生成 AI を活用できるテンプレートを用意しています。

機能③：プロンプトの校内管理・共有ができる

生成 AI の利用が進んでいますが、多くの場合個々での活用になっており、せっかく作成したプロンプトが管理できていない状態になっています。各自が作成したプロンプトを共有・管理することで、効果的なプロンプトを活用できるようになるだけでなく、生徒たちの作成スキルを上げていく機会にもなります。

・岡山学芸館高等学校 副校長 小笠原先生からのコメント

本校は文部科学省の「高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール)」にも参画し、これからの学校教育において「生成 AI の適切な使用」や「校務における先生方の AI 活用」は急務であると感じておりました。ChatGPT などの生成 AI を校内で活用を促しており、専門家からの職員研修なども実施してまいりました。一方で、ChatGPT の活用については当然ながら先生方の個人差があり、何度か利用して、適切な結果が得られずに使用頻度が減ってしまった先生方もいるようです。その背景には、プロンプトを使いこなすスキルの問題があったと思います。今回ご提案いただいたプロンプトゲートでは、「研修パート」「実践パート」「共有パート」の3部分があり、既に生成 AI を使いこなしている方から初心者の方まで、それぞれのレベルに応じて利用価値があると感じました。まずは、先生方の校務に積極的に活用していただきたいと思っています。先生方の業務は本来である授業準備以外にも、様々な資料の作成などがあります。特に、新しい資料や文書の作成時にはプロンプトゲートから適切なプロンプトを得て、生成 AI などでの文書作成に活かしてもらえたらと思います。生成 AI の用途は、これから無限大に広がっていくことと期待しています。

・早稲田摂陵高等学校 Wコース長 米田先生からのコメント

AI, IT は想像を絶するスピードの進化の時代を迎えています。そうした中で、何をどのように学ぶかが非常に重要になってきており、中でも「プロンプトエンジニア」の必要性を強く感じています。そのためにも「FCE プロンプトゲート」を活用し「基礎的な生成 AI リテラシー」「生成 AI を動かす基本フレームワーク」「探究する力を身につけ、国際社会へ貢献する人材、新しい時代を想像する人材」の育成を図りたいと考えています。またそうした人材の育成を通して、将来的には労働生産性の向上にも貢献していきたいと思えます。まずは、ユーザーである教員や生徒にできるだけ主体的に活用してもらうことを狙いにして活用を進めていく予定です。プロンプトゲートの映像教材などを活用し、基礎知識の取得および具体的な活用方法をイメージしてもらうこと、テンプレート機能をもとに実際に作成し、それらを共有機能をもとに共有していくなど、フル活用していこうと考えています。

※本校は文部科学省の「高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール)」に認定されています。また、2025 年 4 月より「早稲田大阪高等学校」へ校名変更します。早稲田大学推薦枠を 74 名設け、早稲田大学進学に特化した「早稲田コース」を設置するなど早稲田大学との高大連携関係をさらに深め、新しい教育へ挑戦します。

・今後の展開

文部科学省は、教育活動や校務における生成 AI の活用に向けて、ガイドラインの制定や実践的な活用研究を行う 52 校を指定するなど、教育現場での生成 AI 活用は急速な広がりを見せています。さらに、今年度からはデジタル人材育成の充実を図るための必要諸経費を補助する「高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール)」を 1010 校採択し、1 校あたり最大 1000 万円の補助金が支給されることになりました。こうした流れに乗り、まずは当社のお客様である全国の約 1100 校の学校に導入を進めてまいります。また同時に、全国の教育委員会および小中高合計 35,000 校を対象に「プロンプトゲートアカデミック」の提案も開始いたします。

・株式会社 F C E

会社名：株式会社 F C E

所在地：東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号 新宿 NS ビル 10 階

設立：2017 年 4 月 21 日

代表：代表取締役 石川淳悦

URL：<https://fce-hd.co.jp/>